



静岡銀行

# What's SHIZU-GIN?

第113期 営業のご報告

2019  
JUNE



第13次中期経営計画

*Tsunagu*  
~つなぐ

# 地域とともに新たな価値を創造し続ける 「しずぎん」

企業理念 地域とともに夢と豊かさを広げます。

30年余り続いた「平成」が終わり、いよいよ「令和」の時代が幕を開けました。

この30年を振り返りますと、平成元年の大納会で日経平均株価が3万8,915円の史上最高値をつけたのち、バブル経済は崩壊の一途をたどり、日本は「失われた20年」といわれるデフレの時代に突入しました。その後も、2008年には日本経済に多大な混乱を招いたリーマンショック、2011年には未曾有の大災害となった東日本大震災の発生など、数多の歴史的な試練に直面しました。さらには、急速な少子高齢化や情報化、国際化の流れが社会のシステムに変革を迫り、私たちの生活や価値観を多様化させています。

こうした大きな変化の時代を通じて、地域社会の豊かな発展に貢献するという地域金融機関としての使命のもと活動を続けることができましたのも、ひとえに地域社会、お取引先、株主の皆さまの変わらぬご支援のおかげと、心から感謝申し上げます。

さて、第13次中期経営計画「TSUNAGU ～つなぐ」は最終年度を迎え、ビジョンとして掲げた「地域とともに新たな価値を創造し続ける『しずぎん』」の実践に向け、グループが一丸となって努力を続けています。2年目となる2018年度

は、本誌でお示したとおり、地域密着型金融の一層の深化を目指し、技術力や将来性など事業性評価に基づく資金供給、地域の活力の維持・向上を目指す創業・新事業支援、経営改善・事業再生支援、あるいは次代を見据えた後継者育成などに注力して取り組んでまいりました。

また、地域の喫緊の課題である相続・事業承継問題の解決に向けては、相続をテーマとするセミナーを営業店やエリア等の小規模単位で70回以上開催し1,100名を超える方にご参加いただきました。このほかにも、経営改善をともなうハンズオン型の事業承継サポートに向けて支援体制を整えるなど、サービスの充実やグループ会社の機能を含めた提案力の向上を図り、お客さまのニーズを起点とした多面的かつ総合的な解決策の提案に努めています。

さらに、首都圏においては、高度な金融技術を駆使したマーケットの開拓など、新たな収益基盤となる事業領域の拡大に取り組んだほか、異業種企業との連携においても、AIやビックデータなど外部のツールやノウハウなどを取り入れ、静岡銀行単独では提供がむずかしいサービスの実現に向けて取り組んでいます。

私は年初に、すべての従業員に対し、「基本理念『地域とともに夢と豊かさを広げます。』以

外のすべてについて、聖域を設けずに見直し、変えるべきことを変える勇気をもって業務に臨む」というメッセージを伝えました。これは、従来の枠組みを超えた大胆な発想と方法論をもって、新しい可能性に挑戦しようという、私の強い決意を示したものです。

まず、その一つの取り組みとして、本年4月と6月に、本部の組織改定を実施しました。これにより、従来の18部54グループから13部44グループにスリム化させるとともに、経営レベルの会議体から部長やグループ長への権限委譲を進め、経営のスピードアップを目指します。あわせて、役員直轄の組織として「イノベーション推進室」を新設し、異業種企業との連携により、中長期的視点で銀行経営を変革させるビジネスの創出を追求していきます。

なお、7月には、静岡県と共同で先端テクノロジー・ビジネスマッチング「TECH BEAT Shizuoka」を開催し、金融に限らずさまざまな先端テクノロジーをもつ企業を静岡に呼び、静岡県内企業とのネットワーク構築やマッチングの機会を提供することで、静岡県の産業活性化

や新たな産業創出につなげたいと考えています。

「令和」という新しい時代においても、AIやロボットなどの技術革新はさらなる社会の変革をもたらすことが予想されます。静岡銀行グループでは、こうした時代の変革の波を地域の飛躍につなげることができるよう、次の第14次中期経営計画において、単なる従来の延長線上ではなく、組織改定や新技術の取り込みを踏まえた夢のある計画を作り、皆さまたとも地域未来を切り拓いてまいりたいと思います。

引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

頭取 柴田 久



- 1 Top Message
- 3 第13次中期経営計画
- 5 Topics
- 7 地方創生への取り組み
- 9 営業のご報告
- 13 Shizugin:ship  
決済手段の多様化への対応
- 14 地域社会への貢献
- 17 第113期 営業のご報告
- 21 決算情報

# Tsunagu

～つなぐ

第13次中期経営計画 2017～2019年度

ビジョン Innovative Bank ～地域とともに新たな価値を創造し続ける「しずぎん」

4つの基本戦略を「コアビジネス」「首都圏」「ネーションワイド」の3つの事業領域で推進します。

あわせて、「収益」「人」「チャネル」の3つの構造改革に取り組み、ビジョンを実現します。

## 4つの基本戦略

- 1 地域経済の成長にフォーカスしたコアビジネスの強化
- 2 事業領域の開拓・収益化による地方銀行の新たなビジネスモデルの構築
- 3 チャネル・IT基盤を活用したセールス業務の変革
- 4 地域、お客さま、従業員、株主の夢と豊かさの実現を応援する

## 事業領域

- コアビジネス  
(静岡県を中心とする地域)
- 首都圏
- ネーションワイド  
(全国展開)

## 構造改革



## 時代の変化を見据えた持続可能な組織をめざして

### ●本部組織の一部改定

デジタル技術の革新に対応する部署の新設、さらには、組織のスリム化や権限委譲などにより、経営の意思決定の迅速化を図ります。



### イノベーション推進室の設置

クリプトアセット(仮想通貨)事業やAI(人工知能)技術など銀行経営に変革をもたらす可能性のある事業革新に機動的に対応する

### 業務BPRプロジェクトチームの設置

ペーパーレス化等による店舗運営の効率化、事務集中部署の業務自動化などを推進し、顧客利便性の向上を図る

### 部・グループの統合・再編

従来の18部54グループから13部44グループに統合・再編。あわせて各種決裁権限を役員から部長、部長からグループ長に委譲するなど、意思決定のスピードアップを図る

## お客さまの利便性・満足度の向上をめざして

### ●営業体制改革への取り組み

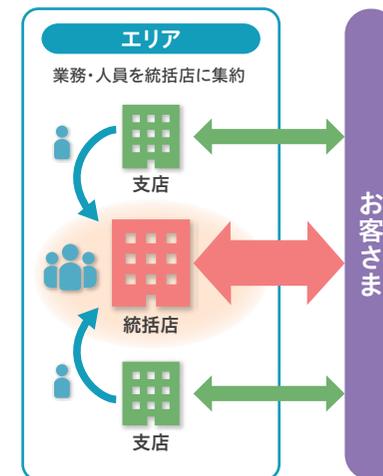
営業エリア内で業務や人員を統括店に集約することで、多様化するお客さまのニーズに適切にお応えする営業体制の構築をめざします。

### 店舗の役割の見直し

地域の特性に応じて店舗の役割の見直しを行い、それぞれの地域のお客さまのニーズにお応えします。

### 営業担当者の集約

営業担当者の集約により、専門知識やノウハウの共有を促進することで、従業員のスキル向上を図り、より付加価値の高いサービスを提供します。



## 地方創生への取り組みが優良事例として表彰される

2019年4月、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部から地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」として表彰されました。

2018年度は48の金融機関による33事例が選定され、静岡銀行は地方銀行では初めて3年連続での受賞となりました。



### 受賞事例

小中学校へのAIを活用したタブレット型教材「Qubena」導入による地方創生人材育成に関する取り組み



## 邦銀初！「水害リスク対応型コミットメントライン」の取扱開始

2019年3月、豪雨等による大規模な水害が発生した場合に、お客さまの円滑な資金調達を支援する「水害リスク対応型コミットメントライン（融資枠）」の取扱を開始しました。

【対象先】ハザードマップ（洪水浸水想定区域図表）で浸水が想定される区域に事業所等を有する企業

スキーム図



## 「米ドル建て社債」の売り出し

2018年12月、お客さまの多様な資産形成・運用ニーズに応え、静岡銀行の安定的な外貨調達を実現するため、ユーロ市場で米ドル建て社債を発行し、国内での売り出しを実施しました。

〈売出総額〉 282,448 千米ドル  
 〈利率〉 年 3.31%  
 〈償還期限〉 2023年12月21日

## 「第7回しずぎん起業家大賞」の実施

地域経済の新しい時代を切り拓くフロントランナーとして、革新的・創造的な事業に取り組む起業家を応援するため開催しました。2018年度は、147件の応募があり、最優秀賞は仲山貴金属鍍金（株）が受賞しました。

### 最優秀賞

仲山貴金属鍍金株式会社  
 難形状や難素材にも対応可能な「世界初のめっき技術」による医療分野への進出



## デジタルキャラクター「ウォレットくん」誕生！

全国の学生を対象にデザインを公募し、総数128作品のなかから常葉大学の齋木まなみさんの作品を最優秀賞としました。静岡銀行のホームページやTwitterなどで利用しています。

### デザイン

富士山をベースとして、頭部のアンテナには、お客さまの意見や要望を広く受信するという思いを込めている



## 富士山世界遺産国民会議「富士山基金」に寄付

通帳を発行しない「しずぎんECO口座」の開設による紙の削減費用の一部、さらには、「米ドル建て社債」の売り出しに合わせて起債総額に応じた寄付金を贈呈しました。

### 〈寄付額〉

しずぎんECO口座/1,039,900円  
 米ドル建て社債/1千万円



### ビジネスマッチング

充実した店舗ネットワークと情報網を活用し、お取引先のニーズに応じた販売先・仕入先の紹介、各種商談会への出展支援などに取り組んでいます。

ビジネスマッチング件数推移



### スーパーマーケット・トレードショー2019

～国内最大級の食品展示会への出展をサポート

【開催日】2019年2月13～15日  
【会場】幕張メッセ(千葉市)

全国から2,176社・団体が出展、約9万人の来場者を集めた食品展示会に、静岡県、静岡県産業振興財団と合同で「ふじのくに 夢街道」を組成し、お取引先51社が出展しました。



東海調理製菓専門学校の学生が出展者の食材を利用したメニューをバイヤーに提供

### 第15回 しずぎん@gricom

～地域食材の新たな魅力の提案と  
農業生産者とバイヤーとの商談・交流をサポート

【開催日】2018年12月7日  
【会場】東海調理製菓専門学校  
研修レストラン「プティ・カザリス」  
(浜松市中区)



### 事業性評価

地域経済・産業の現況や見通しを踏まえて、お取引先の成長の可能性や事業の将来性を適切に評価する「事業性評価」を重視した融資を通じて、お客さまの事業や地域の発展を支えています。

主な実績

	2018年度実績
事業性評価用コベナンツ付融資 将来性やキャッシュフローを重視	372件 / 370億円
しずおか創生・地域企業応援ローン 地域資源の活用や雇用拡大をサポート	150件 / 246億円
ABL(資産担保融資) 在庫や動産の価値に着目した融資	48件 / 66億円
経営サポート資金・ターンアラウンド資金 経営改善・事業再生をサポート	68件 / 17億円

中小企業向け貸出金残高(平残)の推移



### 創業・新事業支援

地域に「仕事」を創出する創業・新事業を支援するため、県内の商工会議所をはじめ、地域の創業支援機関と連携したサポートに取り組んでいます。

創業支援



### 経営改善・事業再生支援

お客さまの経営状態に応じて、中小企業再生支援協議会などの外部機関等と連携して事業再生のサポートに取り組んでいます。

事業再生支援取り組み件数



### 「しずおか観光活性化ファンド」投資第6号

～経営ノウハウや人的ネットワークの提供など幅広くサポート

【実施日】2019年1月30日  
【投資額】2,000万円(社債引受)

○投資先の概要  
【企業名】株式会社 コナリゾート  
【代表者】大嶽 龍太郎  
【事業内容】旅館・ホテル業



廃業旅館を改装し、新たにサイクリスト向け宿泊施設をオープン



### しずおかキッズアカデミー ～いつまでも胸を張って郷土の魅力を伝えるために

地域の子どもたちが、ふるさとの魅力を楽しく学びながら郷土愛を育み、将来的にふるさとに定住し、地域を担う人材へ成長することを目的に開催しています。



しずおかのお菓子・雑穀について知ろう！  
春華堂を探検しちゃおう！

【開催日】2018年11月3日(ほか)  
【参加者】親子22組66名

### しずおかキッズアカデミー ×元氣! しずおか人 in 松坂屋

【開催日】2018年11月17日(ほか)  
【参加者】親子23組59名



# 営業のご報告

## 貸出金

2018年度の貸出金の残高(平残)は、前期比2,949億円増加し、8兆3,369億円となり、このうち静岡県内向け残高は216億円増加し、4兆8,592億円となりました。

### 貸出金残高(平残)の推移



貸出金(平残)のうち静岡県内の割合 **58.3%**

## 預金

2018年度の預金残高(平残)は、前期比3,376億円増加し、9兆6,412億円となり、このうち静岡県内の残高は3,654億円増加し、8兆3,768億円となりました。

### 預金残高(平残)の推移



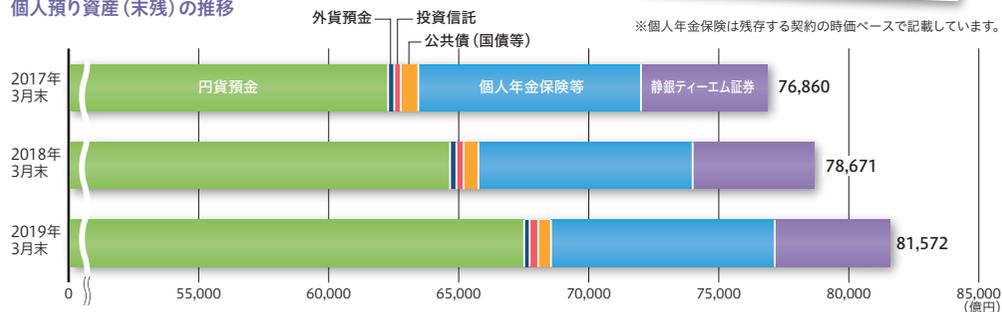
預金(平残)のうち静岡県内の割合 **86.9%**



## 個人預り資産

2019年3月末の静銀ティーエム証券を含む個人預り資産の残高は、前期末から2,901億円増加し、8兆1,572億円となりました。

### 個人預り資産(末残)の推移



## ソリューション営業

### 相続・事業承継は「しずぎん」へ!

「相続」や「事業承継」に関するご相談に、法人・個人の担当者が連携し、お客さまのニーズを起点とした多面的かつ総合的な解決策をご提案します。

#### 相続サポート

**2018年度実績**

- 遺言信託成約 150件
- 遺産整理成約 65件

#### 取扱件数の推移

年度	① 遺言保管件数 (件)	② 遺言執行件数 (件)
2017年3月	21	749
2018年3月	34	958
2019年3月	39	1,078

#### 相続セミナー

従来の「相続・贈与・遺言」を中心としたテーマに、「終活・セカンドライフ」などの新たな項目を加えて開催しています。2018年度は、71会場で開催し、1,105名の方にご参加いただきました。

#### 事業承継サポート

**2018年度実績**

- 資産有効活用 80件
- 自社株対策 759件
- オーナー相続 289件
- 資本政策 39件
- その他事業承継 164件

#### 取扱件数の推移

年度	① 事業承継関連融資金額 (百万円)	② 事業承継相談受付件数 (件)
2016年度	43,962	889
2017年度	50,627	1,686
2018年度	47,623	1,331

#### サポート事例

自動車部品製造業者のA社は、社長の叔父が株式の一定割合を保有していたため、将来の株式分散リスクを課題として認識されていました。静岡銀行では、県の事業承継制度融資の活用を提案し、社長個人での株式買取りと、株式の集約を支援しました。

## 豊かな人生プランの実現をサポート

業務提携先のほけんの窓口グループの「ライフ・デザイン・システム(LDS)」を導入し、お客さま一人ひとりの「想い」に寄り添いながら、各種商品・サービスの提案に取り組んでいます。



## 海外ビジネス支援

【締結日】2018年12月7日  
海外事業展開および海外企業の買収(M&A)支援を目的に、国際協力銀行と「クレジットライン(融資枠)」設定の協定を締結しました。

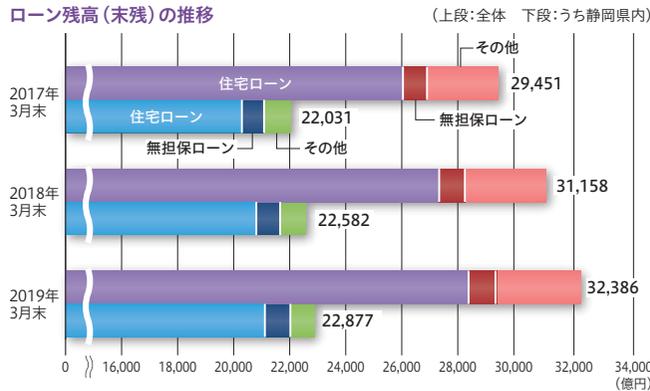
### スキーム図



融資は、原則として、海外事業展開で70%、M&Aは60%もしくは70%を上限とする

ローン

2019年3月末の個人のお客さま向けローンの残高は、3兆2,386億円で、住宅ローンを中心に、2018年3月末より1,228億円増加しました。



- ローンの内訳
- 住宅ローン
  - 無担保ローン
  - その他(資産形成ローン等)
- うち静岡県内
- 住宅ローン
  - 無担保ローン
  - その他(資産形成ローン等)
- ※「住宅ローン」はアパートローンを含む



住宅ローン無料診断サービス「マネピタ」の取扱開始

具体的な物件が決まっていなくても、将来、住宅の購入を検討される際の借入可能金額の目安を通知するサービス。本サービスをご利用いただくと、お客さま専用のマイページが作成され、物件情報等を追加入力するだけで事前審査の手続きもスムーズに行うことができます。

【取扱開始日】2019年3月28日  
【対象者】申し込み時の年齢が20歳以上、70歳以下の給与所得者

「夫婦連生団信」の取扱開始

ご夫婦連帯債務での住宅ローンをご利用いただく場合、ご夫婦のどちらかが「死亡」または「高度障害状態」になられるなど「保険金支払事由」に該当した場合、住宅ローン全額に対する保険金が支払われます。そのため、ご遺族が住宅ローンの残額を負担する必要はなく、より安心してご利用いただけるようになりました。



【取扱開始日】2019年3月18日  
【対象者】加入時の年齢が20歳以上、70歳以下で、最終返済時が82歳未満のご夫婦

「新宿ローンセンター」オープン

東京都内で初となるローンセンターを、新宿支店の3階にオープン。ローカウンターでの個別相談や、応接スペースでの不動産売買・各種打合せなど、さまざまな用途にご利用いただけます。



【オープン日】2019年5月15日  
【業務内容】住宅ローンに関する相談・受付、リフォームローン等各種ローンに関する相談・受付など

インターネット支店

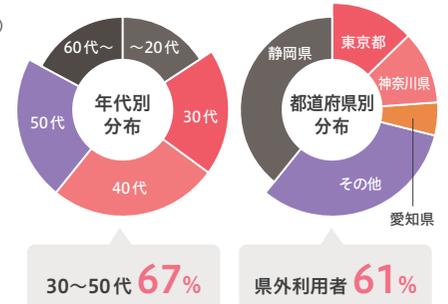
インターネット支店では、口座開設手続きのウェブ完結化や投資信託の取扱い、住宅ローンの完全非対面化など、より便利で身近にご利用いただけるよう、機能の拡充や改良に取り組んでいます。



インターネット支店の預金残高・口座数推移



顧客構成 (2019年3月)



しずぎんECO口座

通帳を発行しない「Web総合口座」、インターネット支店専用口座「WebWallet」、2種類のECO口座により、紙の使用量を削減に取り組んでいます。

また、高校生や大学生など若年層のお客さまにもご利用いただけるよう、2商品の対象年齢を15歳以上に引き下げました。



	Web総合口座	WebWallet(総合口座)
対象年齢	15歳以上	15歳以上
キャッシュカードの発行	磁気カード ※ICカードを希望される場合は別途ご相談ください	ICカード
インターネットでの取引	パソコン・スマートフォンでの取引可能	パソコン・スマートフォンでの取引可能

しずぎんATM	いつでも何回でも 無料
セブン銀行・イオン銀行ATM	●平日 8:45~18:00 ●土曜日 8:45~18:00 無料

※ATMによりご利用いただける時間が異なります。

しずぎんATM、セブン銀行・イオン銀行ATMでのお引き出し手数料がいつでも無料。\*  
※ATMによりご利用いただける時間が異なります。

振込手数料(消費税込み)	パソコン・スマートフォンでの振込の場合		パソコン・スマートフォンでの振込の場合	
	3万円未満	3万円以上	静岡銀行宛	他行宛
静岡銀行宛	無料	無料	無料	216円
他行宛	216円	432円		

※ATMの場合、通常の口座と同額です。

入出金履歴 13カ月分(1年1カ月分) 37カ月分(3年1カ月分)

2018年度の活動実績 参加人数のべ **1,981**人

会員数 **774**社 **1,133**名(2019年3月末現在)

内容	開催実績
全体フォーラム	4回
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	9回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	35講座60回
エグゼクティブ	2講座12回
ミドル	16講座13回
ベーシック	27講座35回
視察会(体験を通じ知見を広げる)	1回

**基調講演**  
「最高のタクシーユーザー体験を求めて」

開催日 2019年2月26日  
講師 日本交通(株) 代表取締役会長  
JapanTaxi(株) 代表取締役社長  
川鍋一朗氏



全体フォーラム

**インド・スタディツアー**

開催日 2018年11月21日～25日  
訪問先 インド共和国 デリー近郊

視察会



**参加者の声**

- 発展が確実視されているインドの勢いと熱量を肌で感じ取れた
- 自分自身の経験と知識の向上につながった
- 参加者との情報・意見交換が有意義だった

**いつでも どこでも より便利にご利用いただくために**  
～決済手段の多様化への対応

クレジットカードの発行と加盟店ネットワークの拡大、さらには、「OrigamiPay」への口座登録をはじめとするスマートフォンQRコード決済サービスの対応など、お客さまのさまざまな決済ニーズにグループ一体となって取り組んでいます。



**クレジットカード等への取り組み**

	業務	詳細	規模
静岡銀行	クレジットカード発行	しずぎんjoyca	約51万会員
	J-Debit	キャッシュカード	約254万枚
静銀ディーシーカード(株)	加盟店募集・カード発行	クレジット、銀聯、Ali pay等	約8千店/約7万会員
静銀セゾンカード(株)	クレジットカード発行	提携カード	約27万会員

**キャッシュレス決済事業者との連携**

	口座登録	クレジットカード登録		口座登録	クレジットカード登録
Origami Pay	○	○	d払い	—	○
LINE Pay	○	—	楽天ペイ	—	○
Pay Pay	○	○	Amazon Pay	—	○
メルペイ	○	—			

**地域社会への貢献**

**しずぎんユフォニア・コンサート**

国内外の一流アーティストの演奏を地域の皆さまにお楽しみいただいています。



第67回 THE REV SAXOPHONE QUARTET(2019年2月7日 静岡市)

**しずぎんカルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」**

落語会の開催を通じて、地域の皆さまに笑顔あふれるひとときをお届けしています。



第23回 林家正蔵・柳家三三(2018年9月3日 静岡市)

**スポーツ大会の支援**

**少年サッカー**

11歳以下の静岡県チャンピオンを決める「しずぎんカップ静岡県ユースU-11サッカー大会」や、全国各地から子どもたちが清水に集う「全国少年少女草サッカー大会」に協賛しています。



**少年野球**

静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会に「しずぎんカップ」として協賛しています。

**金融経済教育**

**金融講座**

常葉大学、静岡産業大学で「金融講座」を開講し、地域金融機関が静岡県経済に果たす役割などを解説。このほか県内各地の学校などでも、金融や経済に関する教育を実施しています。



**全国高校生金融経済クイズ選手権**

**「エコノミクス甲子園」静岡大会**

22チーム・44名が白熱した戦いを繰り広げ、御殿場南高校のチームが優勝。全国大会への切符を手に入れました。



環境への取り組み ~豊かな自然環境を次の世代へ引き継ぐために

地域との共生をめざす基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」の実践に向けて、地域の環境保全に取り組んでいます。

「小さな親切」運動

かけがえのない郷土の自然環境を守り、次世代につなぐため、静岡総合サービス(株)内に静岡県本部を設置し、クリーン作戦や里山づくりなどの環境保全活動を実施。緑豊かで潤いのある地域社会づくりを支援しています。



浜松市西区・館山寺サンビーチの清掃活動  
(2018年6月3日)



沼津市・愛鷹運動公園での植樹活動  
(2019年2月16日)

公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」

1993年の設立以来、静岡県内で環境保全に取り組む団体や個人のべ586先に対して、総額7,520万円の活動資金を助成しました。



環境整備「森と竹で健康クラブ」

2018年度助成先

東部地区	沼津ホテル保護研究会 など8先
中部地区	まきのはら水辺の楽校 など3先
西部地区	湖西フロンティア倶楽部 など4先

「しずぎんエコアイデアコンテスト」を開催

地域の将来を担う子どもたちへの環境教育の一環として、静岡県内の小学生から環境改善に役立つアイデアを募集。2018年度(第7回)は、独創性にあふれる830件の作品が寄せられました。



最優秀賞  
望月まありさん  
(常葉大学教育学部  
附属橘小学校 4年生)  
アイデア  
ポカポカ太陽光ブックカバー

だれもがイキイキと働ける職場づくり ~従業員満足の向上をめざして

多様な価値観をもつ従業員一人ひとりが仕事と家庭生活を両立し、やりがいを感じられる職場づくりに取り組んでいます。

働き方改革への取り組み



フレックスタイム制度・時間単位休暇制度の活用

2018年7月、従業員の自律した働き方の推進とワークライフバランス支援を目的に導入。業務の繁忙に応じて勤務時間を設定したり、育児、介護、通院、公的手続きなど、従業員の多様な事情に応じて柔軟に休暇を取得できることから、多くの従業員が活用しています。

行内サテライトオフィスの設置

2019年1月、東京営業部と本部研修センター内に、出張者向けのサテライトオフィスを設置しました。これにより、出張時等に勤務店に戻ることなく、サテライトオフィスで業務を行うことができ、効率的な時間の活用につながっています。

女性の活躍推進への取り組み

女性交流会の開催

2006年9月より、女性同士の交流やキャリア形成支援を目的として、静岡銀行グループの女性従業員を対象とした「女性交流会」を開催しています。2019年2月には、(一財)静岡経済研究所と共催で「産官学連携 女性異業種交流会」を開催。グループ従業員や行政職員、地元の大学生など82名が参加し、「女性が働きやすい・働きがいのある職場の仮想設計」をテーマとしたワークショップに取り組むなど、活発な意見交換を行いました。

【開催日】2019年2月20日  
【会場】沼津リバーサイドホテル  
【内容】第1部/パネルディスカッション  
第2部/ワークショップ

参加者の声

「巡ってきたチャンスをつかみとる」というメッセージが心に残った



参加者のイキイキとした姿にふれて、社会人になる際の希望となった



女性が働きやすい職場は、男性も働きやすい職場なのだ気づいた

# 第113期 営業のご報告

企業理念 地域とともに夢と豊かさを広げます。



## 静岡銀行の概要 2019年3月31日現在

設立	1943年3月1日
資本金	908億円
貸出金	8兆5,568億円
預金	9兆8,777億円
総資産	11兆8,195億円
連結自己資本比率	16.05% (うち普通株式等Tier1比率 16.05%)
従業員	2,819人
本店	静岡市葵区呉服町1丁目10番地 TEL(054)261-3131
店舗数	206店舗 静岡県内 173 (本支店152・出張所21) 静岡県外 30 (支店25・出張所5) 海外 3 (支店3)

(注)記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

## 邦銀トップ水準の格付 2019年3月31日現在

静岡銀行は「ムーディーズ社」など国内外の3つの格付機関から、日本の大手銀行・地方銀行等のなかでトップ水準の格付を取得しています。

	長期格付
ムーディーズ	A1
スタンダード&プアーズ	A
格付投資情報センター	AA-

## 株式情報 2019年3月31日現在

### 株式の状況

株主数	21,520名 (2018年3月末比592名増)
発行済株式の総数	615,129,069株
保有自己株式数	31,225,850株*

※2019年5月31日、10,000,000株の消却を実施

### 株式の分布状況 (単元未満株式を含む)



## 株主還元状況

DATA.01

- 第13次中期経営計画期間(2017~2019年度)における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%程度」に則り、業績などを総合的に勘案し、2018年度の1株当たり配当額(年間)は公表どおり22円を予定しています。
- 2019年度の1株当たり配当額(年間)についても22円を予定しています。

### 配当額の推移

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予想
1株当たり配当額(年間)	20円	20円	21円	22円	22円(11円)
配当利回り(配当/期末株価)	2.46%	2.20%	2.08%	2.60%	—

( )は中間配当額

### 株主への利益配分の状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2014~2018年度実績(5年間)
年間配当額①(億円)	123	122	125	129	598(累計)
自己株式取得額②(億円)	70	85	97	101	466(累計)
株主還元額③=①+②(億円)	193	207	222	230	1,064(累計)
当期純利益④(億円)	440	244	434	426	1,971(累計)
配当性向①/④×100(%)	27.91	49.83	28.74	30.38	30.34(平均)
株主還元率③/④×100(%)	43.82	84.60	51.16	53.99	53.99(平均)

## 健全性を示す「自己資本比率」(国際統一基準)

DATA.02

自己資本比率<国際統一基準>は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

2019年3月末のBIS自己資本比率(連結ベース)および普通株式に係る株主資本等を中心とした普通株式等Tier1比率は、ともに16.05%となりました。

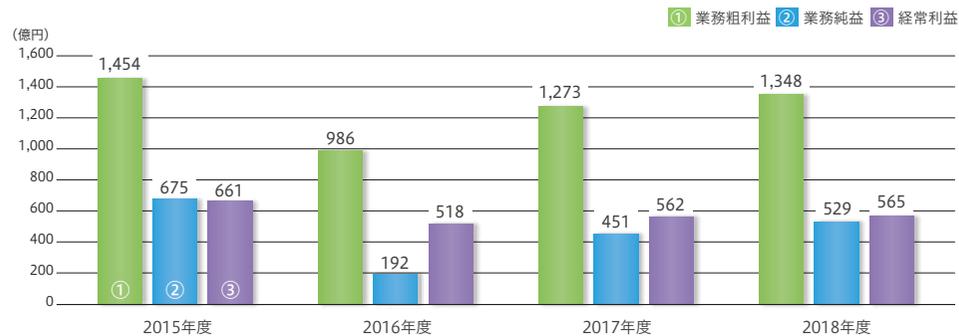
### BIS自己資本比率(連結ベース)



業務粗利益・業務純益・経常利益の推移(単体ベース)

DATA.03

2018年度は、有価証券利息配当金および貸出金利息の増加を主因に、業務粗利益ならびに業務純益が増益。経常利益についても、貸倒引当金戻入益がなくなったことおよび不良債権処理額の計上があったものの増益となりました。



主な経営指標(単体ベース)

(単位:%)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	前年度比
ROE(当期純利益)	4.96	2.76	4.75	4.50	△0.25
ROA(当期純利益)	0.41	0.22	0.40	0.38	△0.02
OHR(経費/業務粗利益)	54.65	80.34	64.55	60.00	△4.55
1株当たり当期純利益(円)	71.42	40.04	72.52	72.14	△0.38

(注)1.前年度比は、表上で算出しています。  
2.ROE(当期純利益)は決算短信ベースにて算出しています。  
3.2018年度の連結ベースROE(当期純利益・決算短信ベース)は4.67%です。

**ROE**  
[Return on Equity・自己資本利益率]

自己資本を使ってどれだけ利益をあげたか(資本の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

**ROA**  
[Return on Assets・総資産利益率]

総資産を使ってどれだけ利益をあげたか(資産の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

**OHR**  
[Over Head Ratio・経費率]

一定の業務粗利益を得るためにどれだけ経費をかけたかを示す指標です。この値が低いほど効率性が高いことを示します。

有価証券評価損益の状況

DATA.04

2019年3月末の株式・債券等の有価証券評価損益は+2,715億円と2018年3月末に比べ10億円減少、うち株式評価損益は+2,618億円と2018年3月末に比べ36億円減少しました。

(注)満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式を除きます。

日経平均株価

2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
16,758.67円	18,909.26円	21,454.30円	21,205.81円

有価証券評価損益(単体ベース)



リスク管理債権等の状況

DATA.05

リスク管理債権の状況(単体ベース)

2019年3月末のリスク管理債権の総額は916億円、貸出金残高に占める割合は1.07%と2018年3月末に比べ減少しました。また、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は83.86%となっています。なお、リスク管理債権から部分直接償却額59億円、信用保証協会の保証付貸出金362億円、担保・引当金等347億円を控除した実質的なリスク管理債権は148億円で、貸出金残高に占める割合は0.17%です。



(百万円)

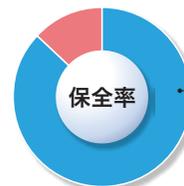
	貸出金残高	リスク管理債権合計
2019年3月末	8,556,855	91,632(1.07%)
2018年3月末	8,287,488	92,764(1.11%)

(注)1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。  
2.( )内は貸出金残高に占める割合を示しています。

リスク管理債権の内訳

(百万円)

破綻先債権額	4,182(0.04%)
延滞債権額	71,157(0.83%)
3カ月以上延滞債権額	257(0.00%)
貸出条件緩和債権額	16,035(0.18%)



担保・保証等や貸倒引当金による保全率  
**83.86%**  
(2019年3月末)

実質的なリスク管理債権

(億円)



金融再生法開示債権の状況(単体ベース)

2019年3月末の「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」施行規則にもとづく開示債権の総額は919億円、総与信残高に占める割合は1.05%、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は83.91%となっています。

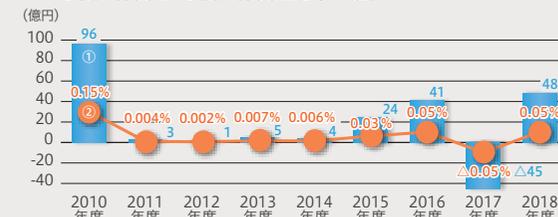
与信関係費用の状況(単体ベース)

2018年度の与信関係費用は48億円、与信関係費用比率は0.05%となりました。

① 与信関係費用  
= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益

② 与信関係費用比率  
= 与信関係費用 / 貸出金平残

与信関係費用・与信関係費用比率の推移



# 決算情報 しずぎんの決算(連結・単体)をお知らせします。

(単位: 百万円)

## 貸借対照表(連結)

科目	2018年度末	科目	2018年度末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	1,221,342	預金	9,804,114
コールローン及び買入手形	270,212	譲渡性預金	115,209
買入金銭債権	40,332	コールマネー及び売渡手形	168,834
特定取引資産	36,469	売現先勘定	129,016
金銭の信託	3,900	特定取引負債	6,028
有価証券	1,402,704	借入金	282,839
貸出金	8,531,914	外国為替	542
外国為替	7,582	社債	35,444
リース債権及びリース投資資産	70,770	新株予約権付社債	33,297
その他資産	124,287	信託勘定借	243
有形固定資産	67,063	その他負債	100,622
無形固定資産	38,658	退職給付に係る負債	20,114
退職給付に係る資産	6,387	役員退職慰労引当金	349
繰延税金資産	2,664	睡眠預金払戻損失引当金	980
支払承諾見返	72,371	偶発損失引当金	1,249
貸倒引当金	△41,835	ポイント引当金	353
投資損失引当金	△55	特別法上の引当金	11
		繰延税金負債	66,331
		支払承諾	72,371
		<b>負債の部合計</b>	<b>10,837,956</b>
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		利益剰余金	705,966
		自己株式	△31,642
		<b>株主資本合計</b>	<b>820,053</b>
		その他有価証券評価差額金	193,428
		繰延ヘッジ損益	671
		為替換算調整勘定	75
		退職給付に係る調整累計額	904
		<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>195,080</b>
		新株予約権	323
		非支配株主持分	1,357
		<b>純資産の部合計</b>	<b>1,016,815</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>11,854,771</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>11,854,771</b>

## 損益計算書(連結)

科目	2018年度
経常収益	235,736
資金運用収益	143,104
(うち貸出金利息)	105,923
(うち有価証券利息配当金)	31,417
信託報酬	3
役員取引等収益	66,438
特定取引収益	3,004
その他業務収益	7,268
その他経常収益	15,916
<b>経常費用</b>	<b>172,356</b>
資金調達費用	27,135
(うち預金利息)	11,397
役員取引等費用	36,224
その他業務費用	5,702
営業経費	90,235
その他経常費用	13,058
<b>経常利益</b>	<b>63,379</b>
特別利益	3,610
特別損失	308
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>66,681</b>
法人税、住民税及び事業税	17,794
法人税等調整額	1,943
<b>法人税等合計</b>	<b>19,738</b>
当期純利益	46,943
非支配株主に帰属する当期純利益	68
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>46,874</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 貸借対照表(単体)

科目	2018年度末	科目	2018年度末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	1,210,135	預金	9,877,734
コールローン	270,212	譲渡性預金	119,509
買入金銭債権	40,332	コールマネー	168,834
特定取引資産	36,309	売現先勘定	99,206
金銭の信託	3,900	特定取引負債	6,031
有価証券	1,414,025	借入金	253,941
貸出金	8,556,855	外国為替	547
外国為替	7,458	社債	35,444
その他資産	98,641	新株予約権付社債	33,297
有形固定資産	63,029	信託勘定借	243
無形固定資産	38,956	その他負債	69,519
前払年金費用	5,028	退職給付引当金	18,454
支払承諾見返	111,770	役員退職慰労引当金	145
貸倒引当金	△37,094	睡眠預金払戻損失引当金	980
投資損失引当金	△55	偶発損失引当金	1,249
		ポイント引当金	306
		繰延税金負債	65,433
		支払承諾	111,770
		<b>負債の部合計</b>	<b>10,862,650</b>
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		資本準備金	54,884
		利益剰余金	649,346
		利益準備金	90,845
		その他利益剰余金	558,500
		自己株式	△31,642
		<b>株主資本合計</b>	<b>763,433</b>
		その他有価証券評価差額金	192,476
		繰延ヘッジ損益	623
		<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>193,100</b>
		新株予約権	323
		<b>純資産の部合計</b>	<b>956,857</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>11,819,507</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>11,819,507</b>

## 損益計算書(単体)

科目	2018年度
経常収益	192,951
資金運用収益	144,272
(うち貸出金利息)	105,951
信託報酬	3
役員取引等収益	30,495
特定取引収益	820
その他業務収益	7,266
その他経常収益	10,092
<b>経常費用</b>	<b>136,463</b>
資金調達費用	27,628
(うち預金利息)	11,920
役員取引等費用	14,736
その他業務費用	5,702
営業経費	82,015
その他経常費用	6,380
<b>経常利益</b>	<b>56,487</b>
特別利益	3,610
特別損失	300
<b>税引前当期純利益</b>	<b>59,797</b>
法人税、住民税及び事業税	14,943
法人税等調整額	2,214
<b>法人税等合計</b>	<b>17,157</b>
<b>当期純利益</b>	<b>42,639</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 決算情報の開示について

静岡銀行では、経営内容や業績などをお知らせするため、決算情報をホームページに掲載しています。

<https://www.shizuokabank.co.jp/ir/financial/index.html>

## 連結子会社(12社)

- 静岡経営コンサルティング(株)  
経営コンサルティング業務/代金回収業務
- 静岡リース(株)  
リース業務
- 静岡コンピューターサービス(株)  
コンピューター関連業務/計算受託業務

- 静岡信用保証(株)  
信用保証業務
- 静岡ディーシーカード(株)  
クレジットカード業務/信用保証業務
- 静岡キャピタル(株)  
株式公開支援業務/中小企業再生支援業務

- 静岡ティーエム証券(株)  
金融商品取引業務
- 静岡総合サービス(株)  
人事・総務・財務関連業務  
有料職業紹介業務

- 静岡モーゲージサービス(株)  
銀行担保不動産の評価・調査業務  
貸出に関する集中事務業務
- 静岡ビジネスクリエイト(株)  
為替送金・代金取立等の集中処理業務  
労働者派遣業務

- 欧州静岡銀行  
銀行業務/金融商品取引業務
- Shizuoka Liquidity Reserve Limited  
金銭債権の取得

## 持分法適用関連会社(3社)

- 静岡ゼノンカード(株)  
クレジットカード・プリペイドカード業務/信用保証業務
- マネックスグループ(株)  
金融商品取引業務等を営む会社の株式の保有
- コモンズ投信(株)  
投資運用業務/投資信託販売業務

※2019年3月31日現在



静岡銀行

<https://www.shizuokabank.co.jp/>



この印刷物には、環境に配慮した  
植物油インクを使用しています。

本誌は、静岡県が制定した「カラーユニバーサルデザインのための指針」を参考に編集しています。